

永山小「確かな学力」育成プラン

令和6年2月～令和7年3月

旭川市立永山小学校

自ら学ぶ態度・学習習慣を身に付けさせるために

- ①児童の思い・願いを取り入れる授業評価の工夫
- ②家庭と学校が連携し、自ら進んで学習に取り組む環境づくり、学習習慣の定着
- ③「子ども育成プラン」に基づく家庭と学校との共同歩調
- ④図書資料の充実、情報・メディアを活用する学び方の実践
- ⑤体験的活動の充実(ボランティア)
- ⑥チャレンジテストの活用

知識・技能の確実な定着のために

- ①学力の基盤となる言語活動の充実、言語環境の整備
- ②学習規律、話し方・聞き方などの学び方の定着
- ③ICTを活用した個別最適な学習の充実
- ④複数の教員・講師による指導
- ⑤効果的な放課後学習の実施による、基礎的・基本的事項の定着

育てたい力

○**学習意欲** 主体的に学習に取り組もうとする態度

○**思考力・判断力** 学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、**表現力** 分の考えを適切かつ豊かに表現する力

○**知識・技能** 読み書きや四則計算などが確実にできる力

知識・技能を活用する力を育成するために

- ①問題解決的な学習の重視
- ②自分の思いや考えをもち、豊かに表現し、目的や意図に応じて筋道を立てて考える授業の推進
- ③身に付けた言語力を発揮する場面の設定
(聞く側を意識した発表の工夫の充実)
- ④地域の「人・もの・自然」と触れ合う体験的な学習の充実及び身に付けた知識・技能を活用する場の設定

指導力の向上を図る研修

- ①思考力・判断力を高め、豊かに表現する力の醸成・育成
- ②研究部及びブロックを中心とした校内研究会の実施
- ③研修の充実(学習指導要領による、主体的・対話的で深い学びの実践の蓄積と交流)

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果(6年)

本校児童の実態

令和5年度教研式学力調査の結果(5年)

国	「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる」や「日常よく使われる敬語を理解している」において、課題が見られた。	
算	「百分率で表された割合について理解している」や「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる」において課題が見られた。	
質問紙	高い傾向を示したもの	低い傾向を示したもの
	<ol style="list-style-type: none"> (1)いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 (2)国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分のよいところを見付けている。 (3)5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をよく活用した。 	<ol style="list-style-type: none"> (1)授業時間以外の普段(月～金)1日当たりの勉強時間。 (2)土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間。 (3)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。 (4)授業時間以外の普段(月～金)1日当たりの読書時間。 (5)自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できる。

国語	<p>「話すこと・聞くこと」の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈話し合いで、発言の意図を聞き取ること〉 ・〈互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること〉 <p>「書くこと」の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈目的に応じて工夫して書くこと〉 <p>について重点的に取り組む必要がある。</p>
算数	<p>「数と計算」の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈四則混合の式〉〈四捨五入〉 <p>「図形」の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈面積の単位換算〉 <p>「データの活用」の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈表の変化の読み取り〉〈関係を式に表す〉 <p>について重点的に取り組む必要がある。</p>